

ぎんまい長岡京

長岡京吟詠会 会報
第40号 令和4年6月1日
発行 長岡京吟詠会
会長 本庄賀秀峰

財団 吟詠京都大会で 拓来君 2 連覇！

4月24日（日）に行われた財団吟詠京都大会幼年の部で高橋拓来君が昨年に続き2連覇されました。また、今回の上位入賞あるいは入賞は、以下のみなさんでした。おめでとうございます。拓来君、米山さん近畿大会でのご活躍祈っております。

幼年の部

優勝 高橋拓来 （近畿大会参加）

一般二部

3位 米山裕子 （近畿大会参加）

入賞 尻枝利孝 （初入賞）

一般三部

入賞 市丸知佐子・橋本孝司・高橋周子・森田秀雄
後藤洋子（初入賞）

以上 （敬称略）（事務局）

府連京都大会で 11 名が入賞の大活躍

5月8日（日）に行われた府連関連の大会で、長岡京吟詠会から25名が参加され11名が入賞されました。入賞は以下のみなさんです。おめでとうございます。拓来君、橋本さん、森田さん、愛連の大会での上位入賞祈っております。

ジュニアの部

2位 高橋拓来 （愛連大会参加）

シニアの部

決勝7位 橋本孝司 （愛連大会参加）

上位入賞 森田秀雄 （愛連大会参加）

入賞 安藤千津子・橋本トモ・山室昭夫

櫻澤茂（初参加入賞）・大西梅野（初参加入賞）

一般の部

上位入賞 市丸知佐子・高橋周子 （愛連大会参加）

入賞 尻枝利孝 （初入賞）

以上 （敬称略）（事務局）

2連覇の「喜びの声」

高橋拓来

おじいちゃんに「上どうや」とほめてもらえることがうれしくて、今年もまい日おけいこしました。2れんばできて、しんじられない気持ちです。きんき大かいも、しゅう中してがんばります。

母から感謝の声

モチベーション維持は大変ですが「いつも通り」を合言葉に、これからも精進してまいります。応援ありがとうございました。



初入賞者の「喜びの声」

後藤洋子

入会以来、詩吟界の権威の吟詠を聞きあさり、魅了されながら、私自身は自己課題を克服しようともせず、漢詩を吟ずるというより口ずさむばかり。特に数年前からは不調に悩みつ、音程が取れないという致命傷に“いつまでやれるかなあ”と、内心では既に諦めてきていたように思います。最近になって改めて発声や吟じ方の基本一つ一つを丁寧に教えて頂き、励まして頂き、“もう少しやってみよう”と思えてきた矢先に財団コンクールで賞を頂き、『私自身の吟を詠うこと』に向かう気力を与えて頂き、大きな励ましとなりました。私なりの第一歩から始めていきたいと思っています。

コロンビア 吟詠京都大会 募集

8月28日（日）京都右京ふれあい会館で開催されます。希望者は6月19日までに本庄会長まで。

初入賞者の「喜びの声」

櫻澤賀秀櫻

府連大会シニアの部に出場する機会を頂戴し、貴重な経験をさせて頂きました。初めての出場でしたが、前日に先生に特別なレッスンをして頂き感謝・感謝し、当日に臨みました。待機席で一席ずつ進みながら、心の中で発声練習をして、順番を待ちました。順番が来て吟じだし、目線を水平に向け前の審査員の方々を見ると、大変品の良い素敵な先生と目線が合い、そのまま目線を合わせて頂いていることに感謝し、勇気をもらい吟じることができました。大切な思い出として心に残る経験でした。



50周年記念特集 その4

【長岡京吟詠会30年史より】

昭和47年長岡京吟詠会設立

昭和47年9月、千阪先生は4年間教えた漢詩講座の修了生を中心に会員28名で「賀堂流長岡京吟詠会」を結成され、翌年昭和48年9月には、来賓4名をお招きして長岡京市中央公民館で「結成記念大会」を開催されました。この時にはすでに6クラブ88名の会員を抱える大きな文化活動グループに発展していました。その後、毎年、記念大会を開催し、昭和52年10月には、ご来賓客56名の出席を頂き、長岡第2中学校講堂をお借りし、創立5周年記念大会を盛大に挙行了しました。この頃には、会員211名賛助会員122名の長岡京市の一大文化活動グループとなっていました。



R4/6・7月の予定

長岡京吟詠会

6/ 1(水) 14:45	連絡会	公民館	視聴覚室
6/ 5(日) 13:30	漢詩作詩初心者研修会	公民館	学習2会議室
6/ 8(水) 14:00	執行部会	産文2F	1会議室
6/15(水) 13:30	運営会	公民館	講座室
6/15(水) 14:45	連絡会	公民館	講座室
6/19(日) 13:00	定期発表会	こらさ1F	ホール
7/ 6(水) 14:45	連絡会	公民館	講座室
7/10(日) 13:30	特別研修会	大山崎	ふるさとセンター
7/13(水) 14:00	執行部会	産文2F	1会議室
7/20(水) 13:00	運営会	公民館	講座室
7/20(水) 14:45	連絡会	公民館	講座室
7/27(水) 14:00	長岡京大会審査員打合せ	公民館	学習1会
7/31(日) 13:30	長岡京吟士権大会	産文1F	大ホール

☆赤字は実施決定！皆さん奮ってご参加ください！！

京都本部・総本部

7/ 3(日) 京都本部常任理事会 丹波マークス

府連・府総連・財団

6/11(土) 府連審査員研修会 京都アスニー
 6/26(日) 府連二部(指導者)大会 ラボール京都
 7/17(日) 全国剣詩舞近畿大会 尼崎文化センター
 7/24(日) 愛連シニア/ジュニア //



柳谷観音の紫陽花

令和4年度 新入会員

よろしく
お願いします



増井 一博 (ますいかずひろ)

住 所：京都市吉祥院

入 会：令和4年3月より

クラブ：長天詩吟クラブ

吟詠のきっかけは辛嶋先生が私のマンションの管理人として着任されたことです。年齢の割に声量が大きいのが印象的でした。私の仕事が令和2年9月で廃業になり、現在は大学で警備の仕事に就いていますが何か自分自身エネルギーが著しく低下し、元気を無くしていた時に、詩吟に出会いました。これからは、腹の底から声を出し、2分間に全てを燃焼する吟詠に打ち込んで行きたいと思っています。どうぞ、宜しくお願い致します。

シリーズ「クラブ紹介」その4

【翠峰会詩吟クラブ】

澤崎賀秀辰

翠峰会詩吟クラブは昭和61年4月に会社の仲間を中心にして発足しました。私の会社の上司であった加藤賀秀弘先生が「詩吟クラブを長岡京で立ち上げたいが、一緒にやらないか」と声を掛けて頂き、原田昭三さん、松本善次さんらにも賛同頂き、新クラブの誕生となりました。立ち上げ時の指導者の円藤賀真寿先生には、平成22年3月まで通算24年の間詩吟のイロハからいろいろとご指導頂き感謝の念でいっぱいです。ただ、残念な事に、昨年令和3年5月にもうすぐ100歳でしたが99歳でご逝去されました。ここに、ご冥福をお祈り申し上げます。コロナ禍が2年以上も続く現状では、毎年恒例の行事もできないもどかしさがありますが、早期に終息することを信じ、その時に備えて、今できることを精一杯やりたいと思います。翠峰会詩吟クラブでは、当面の目標であった全国吟詠コンクールに向けて稽古に励んで来ました。ご一緒に活動している山室賀秀鑑さん、西迫宗文さんと私はお互い一つ違いで私が最年少ですが82歳と高齢になりました。でも、まだまだ若々しく元気ですが、健康、物忘れ対策のためにも、趣味としての詩吟を楽しんでいます。

公サ連まつりに参加しました

高橋賀秀品

5月22日に行われた第38回公サ連まつりに、たちばな①・③、明星詩吟クラブの8名が出演しました。吟題は各自で選びましたが、和歌も一題あり仲間の思いが通じて嬉しくなりました。ナレーション役の2人は、初めての経験でしたが、横山先生のご指導を頂き、何とか無事終わることが出来、今はほっとしています。メンバーの一人がプログラム提出後、体調を崩し参加できなくなり焦りましたが、急遽市丸さんに助っ人に入ってもらい、大感謝です。お客様は100人以上で、その中に我々の会の関係者約10名の応援もありました。反省点も色々ありますが、皆さんのご支援を頂き、良い経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

訃報

松本盛行さん(翠峰会詩吟クラブ)が5月15日にご逝去されました。享年84才でした。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。(事務局)

お詫びと訂正

・ぎんまい5月号の『流碑祭』の記事の中で『銘板を奉納』と記載しておりましたが、正しくは『銘板を(安置堂に)奉安』とすべきでした。
 訂正してお詫び申し上げます。(本庄賀秀峰)
 ・『昇級・昇格』の記事で、土江三佐子さんの名前を土江美佐子と表記しておりました。
 訂正してお詫び申し上げます(編集部)

寄稿募集しています。

【編集室】では皆さまの寄稿を募集しています。会員同士で吟詠の事を紹介し、相互に学び合ひましょう

連絡先 尻枝賀秀道 Tel: 075-954-9092

『ぎんまい長岡京』 編集室

チーフ 尻枝賀秀道

メンバー 市丸、櫻澤、西本、後藤、宮小路

※連絡先 尻枝賀秀道

Tel: 075-954-9092

